

戦争と平和コース



「あの日」の記憶をたどる

～わたしのまちでも戦争があった～

終戦から79年が経ち、戦争を経験していない世代が多くなり、その記憶や教訓を次の世代にどの様にしてつないでいくのか、県内各地に残る戦争遺構を中心に学び、平和の為に自分達に何ができるのか考えました。

第1回

終戦から79年 ～戦禍の熊本を知る～

10月9日(水)



熊本大学
名誉教授
堀 浩太郎 氏

戦争遺産とは何か。目に見える物だけではなく、記憶も遺産になるという事、遺跡だけ調べるのではなく、語り継いでいく事が重要であり、二次体験として聞いた話を次の世代につないでいく事の大切さを知った講座でした。講師の戦争と平和への想いを感じました。

第4回

県南の戦争遺産に学ぶ ～にしき ひみつ基地ミュージアム～

10月30日(水)



にしき ひみつ基地ミュージアム
館長
手柴 智晴 氏

ひみつ基地ミュージアムの設立の経緯、取組やイベントの紹介、跡地をミュージアムとして使用している人吉海軍航空基地についての講義のほか、県南の軍関連施設(陸軍八代飛行場跡・陸軍人吉秘匿飛行場跡など)も解説。施設の見やすく・分かりやすい展示は、年齢を問わず、戦争について知るきっかけとなり、さらに次の世代につないでいくことの大さについても学びました。

第2回

県北の戦争遺産に学ぶ ～荒尾・玉名・菊池・阿蘇～

10月16日(水)



くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク
代表
高谷 和生 氏

県北の陸軍黒石原飛行場や菊池飛行場、熊本北秘匿飛行場などを中心とした各地の戦争遺跡の解説のほか、伝単(宣伝ビラ)や、講座時に話題に上がっていた不発弾についても講義。講師が今まで調べ上げてきた詳細で膨大な情報について、時間ぎりぎりまで講座が行われました。受講生は熱心に聞き入っており、熊本の身近な戦争遺産を学ぶ事ができました。

第5回

今、戦争と平和について考える ～戦時資料が語りかけるもの～

11月6日(水)



(一社)くまもと戦争と平和のミュージアム設立準備会
理事
上村 真理子 氏

個人で5000点以上の戦時資料を集めてきた講師から、資料により見えてくる戦争について講義いただきました。実際に、当時のビラや貯金箱などを持参し、資料を見る人が戦争時代の世相を感じ考えて欲しいと語りました。戦争とは何か、戦争がどの様にして、人の感情を変化させていったのか、今もなお続く戦争を改めて考えさせられました。

第3回

県央の戦争遺産・フィールドワーク ～大江の戦争遺跡を歩く～

10月23日(水)



くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク
代表
高谷 和生 氏

現地学習場所:熊本学園大学「産業資料館」「陸軍歩兵第十三聯(れん)隊食堂・酒保所」「皇威無窮(こういむきゆう)碑」
くまもと県民テレビ・KKT「陸軍歩兵第十三聯隊 正門・脇門」
第2回で講義を行った高谷氏の案内の下、熊本学園大学内にある戦争遺跡を中心に歩いて歩きました。普段は部外者の入る事のできない第二体育館(陸軍歩兵第十三聯隊食堂)は、当時のままで、現在も使用されている唯一無二の建築物でした。
また、受講生から、戦後に使用されていた施設の当時の貴重な話を聴く事もでき、戦争を近く感じるフィールドワークになりました。

現地学習

詳しくは、[広報ボランティア](#)の記事をご覧ください!



△陸軍歩兵第十三聯隊 正門・脇門



△「皇威無窮(こういむきゆう)碑」

△陸軍歩兵第十三聯隊食堂・酒保所

受講生の感想

- ・今回の講座を受けて改めて「平和の大切さ」を学ぶことができました。このままずっと平和が続いていくことを祈るばかりです。又、戦争によって「子供を取り巻く環境」が、がらっと変わる事に衝撃を受けました。
- ・忘れかけた戦争と平和の知識を得ることが出来ました。